

■ 基本的な考え方

- 開催地として、万博を一過性のイベントに終わらせることなく、万博のインパクトやレガシーを最大限活かし、**大阪の成長・発展につなげていくことが不可欠。**
- 万博開催までいよいよ1000日を切った中、課題は山積しているが、先延ばしすることなく、**府市の取組みを一気に加速させなければならない。各部局が有する機能をフル稼働させて、主体的に取り組んでいくことが必要。**



■ 参加促進部会の設置趣旨

- 万博の成功には、**世界中から一人でも多くの方々が万博に参加できるよう、国内外から人材や投資を呼び込む仕組み**を作っておくことが重要。
- 子どもから高齢者、障がい者、外国人、自治体、各種団体など、**多様な方々が積極的に万博へ参加できる枠組みを整備し、参加を促すことで、教育や福祉、府内各地域の都市魅力の向上・発信、国際交流など各部局の所管する施策を推進する絶好の機会**とし、**大阪の持続的な成長・発展につなげていく。**
- そこで、参加促進部会では、多様な方々の参加促進に向けて、大阪府・市関係部局が主体的に取り組み、実現すべきものについて、課題への対応や事業化に向け、協議等を行うものとする。

■ 万博への参加の枠組み等

以下の参加メニューは、博覧会協会が策定した、次の資料をもとに整理。
 ・2025年日本国際博覧会基本計画（2020.12）
 ・2025年大阪・関西万博への参加について【自治体/企業・団体向け】（2022.5）

< 参加の枠組み >

< 参加内容 >

< 府市等の役割 >

① 運営参加
(ボランティア)

ボランティアとして
運営に参加

協会は会場内のボランティア制度を構築・運営
⇒ **【府市】 会場外のボランティアのあり方を検討**

② 参加催事

ギャラリーや庭園等
を用いた技術、ア
ート、伝統文化等の展
示体験催事等

協会が催事基本計画をはじめ、受入れの枠組みを
用意
⇒ **【府市】 多様な方の催事参加を検討**

③ 子どもの
無料招待

府内の子ども達を無
料招待

協会が子ども料金も含め、入場料金制度を設定
⇒ **【府市】 府内の子ども達の無料招待を検討**

大阪パビリオン
への参加
(①～③関連)

大阪パビリオンのボ
ランティアや催事等
に参加

協会は会場全体のパビリオン出展を推進
⇒ **【府市】 大阪パビリオンへの府民等の参加の仕
組み等を検討**

協会が用意する枠組み

府市の取組み

(1) 府民・市民等の参加

主な課題と検討事項

	検討項目	課題・検討事項	現時点の検討状況及び当面の取組み予定	主な関連部局
(1) 府民・市民等の参加	① ボランティア	・ボランティアの活動内容・範囲・場所等を検討 (万博会場内・外、大阪パビリオン内も含めて検討) ・府内市町村や既存ボランティア団体等との関わり方、ボランティアセンター等のレガシー化を検討 【協会と協議を要する事項】 ・協会と府市の役割分担、府市の関わり方 ・ボランティアセンターの設置のあり方 (協会と合同設置 or 府市単独設置) ・合同設置とした場合の費用負担	【検討状況】 ・協会と役割分担について協議中（協会の考え方は、会場内:協会、会場外:自治体） ・会場外の活動エリアとしては、空港、主要駅、シャトルバス発着場等を想定 【当面の取組み予定】 ・ボランティアの活動内容や募集人数・方法等を検討するため、協会と合同WGを今月中に設置予定 ・基本的な取組みの方向性案を年内目途にとりまとめ	府：府民文化部（府民文化総務課、企画・観光課）、福祉部（福祉総務課、地域福祉課、障がい福祉室、介護支援課、子ども青少年課） 市：北区、大正区、経済戦略局（観光課、スポーツ課）、福祉局（高齢福祉課） 万博推進局
	② 高齢者・障がい者等多様な方の催事参加	・協会が策定予定の催事基本計画を踏まえ、多様な方の催事参加について検討 ・高齢者や障がい者等への積極的な支援のあり方や、催事募集時の周知方法や周知ルート等を検討 (万博会場内、大阪パビリオン内も含めて検討)	【検討状況】 ・現在、協会において催事基本計画を策定中。参加催事の募集は2023年度以降に開始予定 ・府議会において、障がいのある方が催事に参加できるよう、関係部局と連携し、府としての取組みについて検討していく旨答弁（R4年2月議会 維新代表） 【当面の取組み予定】 ・協会の催事基本計画の策定状況等を踏まえ、催事に関する府市の取組みについて、部会で議論（必要に応じて協会への要望実施も検討）	府：府民文化部（府民文化総務課）福祉部（福祉総務課、地域福祉課、障がい福祉室、介護支援課） 市：福祉局（高齢福祉課） 万博推進局
	③ 府内の子どもの無料招待	・無料招待の対象範囲、事前学習の実施についての検討 ・スケジュールの検討（各学校・協会との調整、予算要求時期） ・無料招待時の会場内での見学メニュー等の検討 (万博会場内、大阪パビリオン内も含めて検討)	【検討状況】 ・府市議会で知事・市長が子どもの無料招待の実現について関係者と協議を進めたい旨答弁（府：R2年2月議会 公明代表、市：R2年10月 公明・決算特別委員会） ・協会において入場券制度を検討中。年度内目途に確定予定。 【当面の取組み予定】 ・子どもの教育的観点なども踏まえ、無料招待の対象範囲、事前学習の開始時期等について部会で議論。今年度中を目途にスケジュールを含めた方針案を取りまとめ。	府：教育庁（教育総務企画課、高校教育改革課、小中学校課、私学課） 市：北区、大正区、子ども青少年局（総務課）、教育委員会事務局（総務課） 万博推進局

スケジュール（想定）

4/13
～
10/13
大阪・関西万博開催

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
(1)①__ボランティア	<p>部会での検討 協会との協議</p> <p>● 予算要求</p> <p>● 基本的な方向性（案）作成</p> <p>● 部会での検討 協会との協議</p>	<p>● ボラセン等設置</p> <p>● ボラセン等運営</p> <p>● 募集・面接</p>	<p>● 研修実施</p>	<p>● レガシー化</p>
(1)②__高齢者・障がい者等多様な方の催事参加	<p>(部会) 多様な方の催事参加の手法検討</p> <p>● 催事基本計画策定（夏頃）</p>	<p>● 団体等を通じた参加の呼びかけ</p> <p>● 催事参加募集開始（2023年度中）</p>		
(1)③__府内の子どもの無料招待	<p>(部会) 無料招待のスキーム検討、協会との購入に向けた調整</p> <p>● 入場料：国の承認</p>	<p>● 入場券販売</p> <p>● 予算要求</p>	<p>● 協会との調整等</p> <p>● 各学校での事前学習の実施</p>	
(2)①__自治体の催事参加	<p>(部会) 実施方針・体制の検討</p> <p>● 予算要求</p>	<p>(部会) 実施方針・体制の検討</p> <p>● 催事計画策定に向けた調整</p>	<p>(部会) 催事計画（中間報告）</p> <p>● 予算要求</p> <p>● 催事計画策定</p>	<p>● 催事計画に沿って事業実施</p> <p>● 予算要求</p>
(2)②__国際交流	<p>(部会) 制度設計状況に応じて府市としての対応を検討</p> <p>● 予算要求？</p> <p>● 国の概算要求</p>	<p>(部会) 制度設計状況に応じて府市としての対応を検討</p>	<p>● 府内市町村の実施・フォロー等</p>	<p>● 万博終了後も交流の継続</p>
(2)③__全国からの修学旅行等の誘致	<p>(部会) 経済団体の動きを確認して、府市としての対応を検討</p> <p>● 予算要求？</p>	<p>(部会) 大阪観光局と連携した誘致施策・PR及び全国知事会や首長連合等での呼びかけ</p> <p>● 予算要求</p>	<p>● 予算要求</p>	

2025年大阪・関西万博の推進体制について

令和4年4月13日（水）

大阪府・大阪市 万博推進局

専門部会の設置について

専門部会	主な課題と検討内容（イメージ）	（例）関係部局※
ユニバーサルデザイン部会	<p>○万博会場外におけるユニバーサルデザインの導入</p> <p>⇒協会が設置している「ユニバーサルデザイン検討会」と連携し、 ・ユニバーサルデザインの導入</p> <p style="text-align: right;">などを検討</p>	<p>府) 福祉部、都市整備部 府民文化部</p> <p>市) 経済戦略局、福祉局、 計画調整局、建設局、 区役所</p>
参加促進部会	<p>○万博への参加促進や学校教育との連携</p> <p>⇒協会がとりまとめる催事基本計画や「ジュニアEXPO2025」等と連携し、 ・子ども、高齢者、障がい者等に対する参加支援 ・修学旅行など学校行事を対象としたプログラム</p> <p style="text-align: right;">などを検討</p>	<p>府) 福祉部、教育庁 府民文化部</p> <p>市) 経済戦略局、福祉局、 こども青少年局、 教育委員会、区役所</p> <p>府・市) 万博推進局</p>
環境部会	<p>○万博を通じたゼロカーボンや環境エネルギーの取り組みとの連携</p> <p>⇒協会が設置している「環境エネルギー検討委員会」等と連携し、 ・万博会場で発信する未来社会における環境エネルギーの姿の府域への展開 ・EV/FCVバスの導入などゼロカーボンの取組促進 ・EXPO2025グリーンビジョンとの連携</p> <p style="text-align: right;">などを検討</p>	<p>府) 環境農林水産部、 商工労働部、 政策企画部</p> <p>市) 環境局、 経済戦略局、 政策企画室</p>
スーパーシティ部会	<p>○スーパーシティの構想の実現</p> <p>⇒スーパーシティ型国家戦略特別区域の指定を踏まえ、 ・万博レガシーの継承も含めた先端サービスの実現</p> <p style="text-align: right;">などを検討</p>	<p>府) スマートシティ戦略部</p> <p>市) デジタル統括室</p>

(参考) 直近の市会での主なやりとり

会派・議員	質問	答弁
<p>万博特別委員会 自民・多賀谷 G</p>	<p>・市民が万博を機に SDGsの前進に対して貢献する活動をする、そうした市民運動的なムーブメントが万博後も大阪の地に根付いていくようなことが本当のレガシーになるのではないかと思う。</p> <p>・市民によるさまざまな活動についての情報を大阪府が発信し、さらに多くの市民に「自分たちも参加してみたい」と思わせるようなきっかけを与えたり、学校教育の中でも、授業でSDGsについて子どもたち自身が考え活動するなど、機運醸成の取り組みとともに、市民の主体的な活動が進んでいくように大阪府市が積極的に関わっていくべきではないか。</p>	<p>・大阪の地で市民の皆さんによるSDGsの活動の輪が質・量ともに充実するよう、「TEAM EXPO 2025」プログラムを通じた皆さんの主体的な活動の推進をめざし、万博推進局としても機運醸成等の機会をとらえてプログラムのPRを行うとともに、各所属と連携して情報発信の強化を行うなど、市民の皆さんのプログラムへの参加促進に向けた取組みを進めてまいります。</p> <p>・子どもたちの教育の面では、教育プログラム「ジュニアEXPO 2025」の取組みを、博覧会協会と連携して実施しているところである。その取組みを通じて、未来の大阪を担う子どもたちに向けたSDGsの啓発も、教育委員会事務局と連携して、より一層進めてまいります。</p>
<p>11月公明代表 (佐々木 G)</p>	<p>・子どもたちの無料招待の実現や、小中学校で進められている万博やSDGsへの理解促進の取組みをさらに広めていくことが必要。</p>	<p>・万博への無料招待の実現に向けて引き続き取り組むとともに、万博やSDGsを学べるよう教育プログラム「ジュニアEXPO」等の取組みを広め、興味を持ってもらうことに繋げていく。</p>

2025年大阪・関西万博推進本部会議 第1回参加促進部会

《会議要旨》

・子どもの無料招待について、教育的観点などを踏まえてと記載されているが、これがどういった思いから発案され、この資料になるまでにどういった議論があったのかが気になるところ。

今後、対象範囲の検討していく上で、教育的観点というものにどこまで則って議論していくべきなのかが分からないため、教えていただきたい。(大阪府福祉部子ども青少年課 課長補佐)

⇒まず、5、6ページに記載している内容は事務局案であり、今後の議論の中で変わっていくものだと認識いただきたい。

子どもの無料招待については、令和2年の大阪府市両議会で知事・市長の方から、前向きに検討を進めていくと答弁があったため、協会が用意する枠組みに関わらず、大阪府市として、府内の子どもたちは無料招待すべきではないかということで整理させていただいているもの。

愛知博の際は、小中学校のみを無料招待の対象としており、基本的には学校教育の行事の中で招待するという形となっていたため、まずはその形に沿って進めていくのが良いと考え、教育的観点と記載している。

部会の議論の中で、乳幼児も含めて招待すべきではないか、教育的観点以外にもこんな視点でも呼べる余地があるのではないかといったようなところがあれば、適宜、修正・更新をしながら進めていきたい。(大阪府市万博推進局 参加促進課長)